

環境調査結果のお知らせ

平成30年6月28日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温22～26℃、塩分31～34、溶存酸素量6～8mg/lでした。
透明度は4～6mで、有害種のカレニア・ミキモイが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温22.2～26.2℃、塩分30.5～33.7でした。
前回調査時(H30.6.15)と比較して、水温は表層から5m層及び底層で0.1～2.5℃上昇しました。塩分は表層から2m層で1.0～1.3低下し、10m層から底層で0.2～0.3上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量6.4～8.3mg/lでした。
前回調査時(H30.6.15)と比較して、表層から2m層で0.1～0.2mg/l上昇し、5m層から底層で0.3mg/l減少しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.5～5.5mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1cell/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

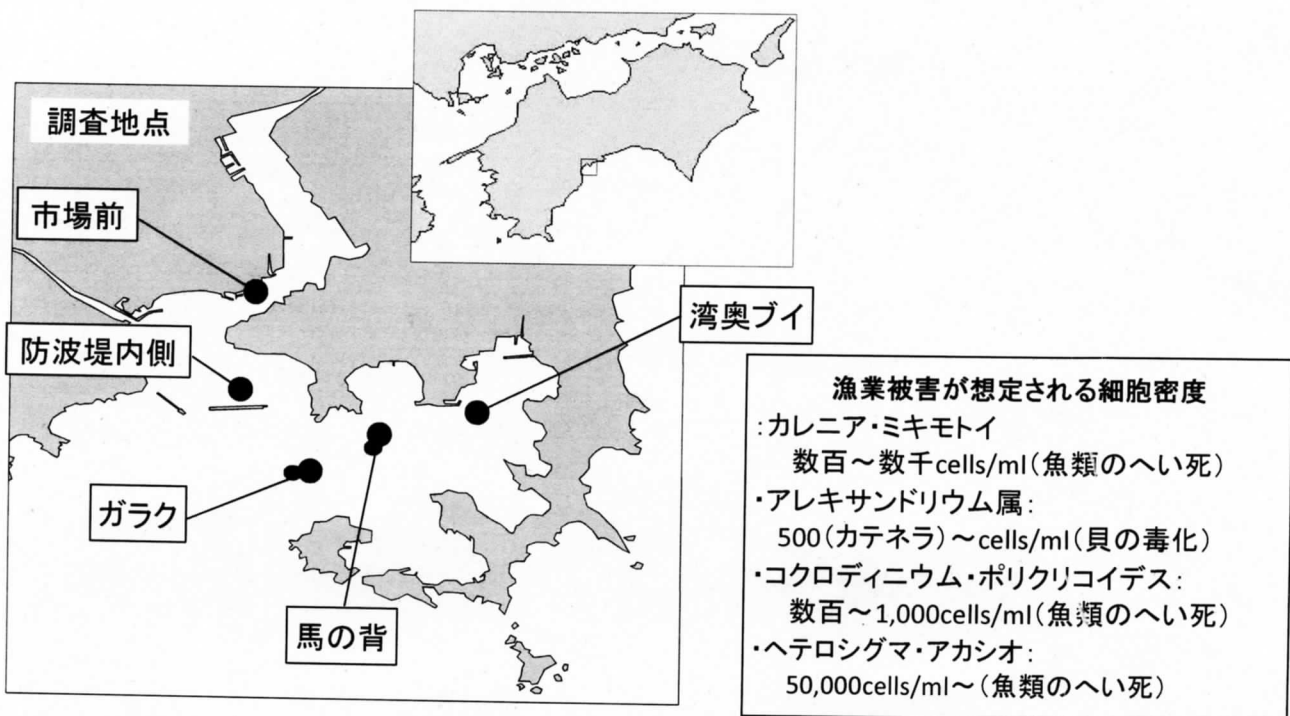


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H30.6.15)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	26.2	26.1	25.8	25.5	26.0	23.5	2.5	26.0
2m	25.3	25.3	24.9	24.9	25.2	23.5	1.7	25.1
5m	23.8	23.9	23.8	24.0	23.8	23.5	0.3	24.0
10m	23.0	23.0	23.1	23.1	23.0	23.0	0.0	23.1
B-1m	22.4	22.2	22.8	22.4	22.5	22.4	0.1	23.1

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H30.6.15)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	31.4	31.5	31.5	30.5	31.4	32.7	▲ 1.3	27.6
2m	31.7	31.8	32.0	31.6	31.8	32.8	▲ 1.0	30.7
5m	33.0	32.9	32.9	32.6	33.0	33.0	0.0	32.2
10m	33.6	33.5	33.5	33.5	33.5	33.2	0.3	33.4
B-1m	33.7	33.7	33.6	33.7	33.7	33.5	0.2	33.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H30.6.15)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.5	7.4	7.5	8.3	7.5	7.3	0.2	8.2
2m	7.6	7.1	7.4	8.0	7.4	7.3	0.1	8.0
5m	6.7	6.8	6.9	7.1	6.8	7.1	▲ 0.3	6.3
10m	6.5	6.6	6.8	6.5	6.6	6.9	▲ 0.3	6.3
B-1m	6.5	6.4	6.7	6.6	6.5	6.8	▲ 0.3	6.3

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.5	23.0	15.6	14.8	11.6
透明度	4.5	5.5	5.0	3.5	3.0
前回(6/15)	5.8	6.2	6.4	4.9	3.7

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモイ	アレキサンドリ ウム属	ココロチニウム・ ポリクリコイデス	ヘテロシグマ・ アカシオ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	1,100
	2m	0	0	0	0	2,200
	5m	1	0	0	0	800
馬の背	0m	0	0	0	0	2,200
	2m	0	0	0	0	1,000
	5m	0	0	0	0	500
ガラク	0m	0	0	0	0	800
	2m	0	0	0	0	1,300
	5m	0	0	0	0	250
津波防波堤 内側	0m	0	0	0	0	1,500
	2m	0	0	0	0	800
	5m	0	0	0	0	200
市場前	0m	0	0	0	0	3,500
	2m	0	0	0	0	1,200
	5m	0	0	0	0	600